

国際平和デー（2020年9月21日）100日前メッセージ

9月21日の「国際平和デー」まで残り100日となりました。

「国際平和デー」は、全ての国と人々が世界恒久平和の実現への決意を表すとともに、平和の大切さや尊さを考える重要な一日です。改めて、この「国際平和デー」を強く押し進めておられるアントニオ・グテーレス国連事務総長のリーダーシップに心から敬意を表します。

世界恒久平和への道筋として「核兵器のない世界の実現」と「安全で活力のある都市の実現」という二つの目標を掲げ、取り組んでいる平和首長会議では、「国際平和デー」の理念に賛同し、これまでも記念行事を開催するとともに世界各地の加盟都市に記念行事の開催を呼び掛けてきました。

今年も、164か国・地域の7,907の加盟都市に対して、広島・長崎の原爆投下日である8月6日から9日までの間のいずれかの日及び9月21日の「国際平和デー」に市民一人ひとりが平和への願いを共有し、その実現を祈念する取組を行っていただくよう呼び掛けます。

人類は今、新型コロナウイルスという脅威に見舞われ、過酷な状況にあります。また、核軍拡競争による核兵器使用の脅威の増大、気候変動が引き起こす大規模災害、広がり続ける貧富の格差といった多くの課題に直面しています。このような人類共通の安全を脅かす課題に対峙し、解決するためには、世界中の市民が強固でグローバルな協調関係を築かなければなりません。

本日から「国際平和デー」までの100日間、加盟都市が心を一つにして平和への願いを結集させ、世界中の市民と共に、核兵器のない平和な世界の実現に向けて協調していきましょう。

2020年6月13日
平和首長会議会長
広島市長 松井 一實